

平和記念だより 79

2021年4月

◆編集・発行/高松市市民政策局人権啓発課 高松市平和記念館
◆連絡先/高松市松島町一丁目15番1号 たかつみライエ5階
〒760-0068 TEL(087)833-2211 FAX(087)833-2244

教職員のための平和教育講演会

令和2年12月25日(金)、平和記念館映像学習室において「教職員のための平和教育講演会」を開催しました。

「香川県原爆被害者の会高松支部」の長尾昭雄さんを講師にお迎えし、広島での被爆体験についてご講演をいただきました。青白い光に包まれた直後、倒壊した建物に押しつぶされ大けがをした長尾さん。ガラスの刺さった鎖骨の辺りから血が噴き出す様、避難の途中で目にした川に浮かぶ何百人もの遺体、入院した病院の劣悪な状況など、長尾さんのお話される原爆投下直後の様子は想像を絶するものでした。

長尾さんは、「何よりも人の命が大切、平和でなければその命を守ることはできない」と考え、戦争がいかに悲惨か、平和がいかに大切か、一人でも多くの人に伝えたいという強い思いから、ご自分の被爆体験を語ることにしたそうです。

平和教育講演会後半は平和教育担当の職員が、高松市内の小中学生を対象に実施している平和学習について説明しました。参加者の方からは、終了後に講演の感想や平和学習についての質問を熱心にいただきました。お忙しい中、ご参加の教職員の皆様、ありがとうございました。



被爆体験を語る長尾昭雄さん

教職員のための平和教育講演会 参加者アンケートより

ご協力ありがとうございます！

戦争の悲惨さを語り継がなければなりません。正しい情報を伝えていかなければならないと思いました。

(20代男性)

被爆により大けがをされ、無事帰郷されたお話から、命の淵をさまよわれるような大変なご経験をされたことがひしひしと伝わってきました。生の声に勝るものはありません。これからも、お元気で子どもたちに語り継いでいただきたいと強く思いました。

(50代女性)

高松市戦争遺品等収蔵品巡回展「香南町」

令和3年3月18日(木)から3月30日(火)まで、高松市香南歴史民俗郷土館で「戦争遺品等収蔵品巡回展」を開催しました。高松空襲関係資料や戦時下のくらしの写真等、パネル、絵画22点、戦争遺品等27点を展示しました。特に戦争遺品は、由佐村(現・香南町)での疎開生活の様子を描いた絵画や池西村(現・香南町)役場に残っていた未使用の国民兵召集令状など、香南町や近隣の地域にゆかりのあるものを中心に展示しました。ご来場の皆様、ありがとうございました。



戦争遺品等収蔵品巡回展の様子

「語り部の会」活動報告

「高松市戦争体験を語り継ぐ語り部の会」では、香川県内の団体等から依頼を受けて、自らの体験をもとに、戦争の現実や平和の尊さを語る「語り部」活動を行っています。(敬称略・50音順)

語り部	令和2年度の主な活動内容
岡田 昌子	●7/15 朝日新聞、香川版、愛媛版に「戦争、ありのまま語り継ぐ」というタイトルで、「高松空襲」「松山空襲」についての記事を掲載。 ●8/10～ ケーブルテレビで「高松空襲」について収録した番組が再放映。
小西 弘和	●9/8 新番丁小学校6年生を対象に講演。内容は「戦時中のくらし」「高松の空襲」「原爆」「私の体験」等。 ●9/15 直島中学校3年生を対象に講演。内容は「戦時中のくらし」「高松の空襲」「原爆」「私の体験」等。
戸祭 恭子	●4/2 香川県民医連の入職2年目職員を対象に現地研修及び講演。高松空襲跡地を巡りながら「高松空襲の概要」等を説明。その後、「平和の大切さ」等について講演。 ●9/30 牟礼中学校3年生を対象に講演。内容は「高松空襲での体験」「戦後の生活」「助け合うことの大切さ」等。

平和映画☆上映会のお知らせ

平和映画上映会を次のとおり開催しています。ぜひ、ご家族でご覧ください。

- 場 所 たかまつミライエ5階 平和記念館映像学習室
- 作 品 「100ばんめのサル」(アニメ)
- 期 間 令和3年4月～6月
- 日 時 開館日の土・日・祝日、午前11時～(1回目)、午後2時～(2回目)
- 時 間 約17分
- あらすじ

サツマイモを洗えば、砂が落ちておいしく食べられることを発見した一匹のサル。その行為はサルたちの間に少しずつ伝わっていき、ある日100番目のサルがサツマイモを洗ったことをきっかけに一気に広がりを見せた。思いは心から心へと伝わる。「核爆弾なんかいらない」「戦争なんかしちゃいけない」一人一人のその思いがだんだん広がって、やがて、大きな平和への強い力になる。さあ、手をつないで、みんな地球を守ろう。

※ 都合により、上映作品・期間等を変更することがあります。

▼令和3年度行事予定▲

6月

● 高松空襲写真展

期 日 令和3年6月25日(金)～7月5日(月)
場 所 たかまつミライエ5階 平和記念館映像学習室
内 容 高松空襲の被災写真・絵画・資料パネルを展示

7月

● 高松市戦争遺品展

期 日 令和3年7月13日(火)～7月19日(月)
場 所 瓦町 FLAG2階 コンコース
内 容 高松空襲と戦争に関する写真・パネル・資料を展示



8月

● 原爆写真展 ～SDGs 未来に向かって平和と公正な社会を～

期 日 令和3年8月5日(木)～8月11日(水)
場 所 瓦町 FLAG8階 IKŌDE 瓦町展示コーナー
内 容 原爆関連資料とSDGsに関する資料を展示

● 教職員のための平和教育講演会

期 日 令和3年8月19日(木)
場 所 たかまつミライエ 部屋については未定
内 容 講演(内容未定)と「平和学習」の説明

2月

● 高松市戦争遺品等収藏品巡回展

期 日 令和4年2月26日(土)～3月21日(月)
場 所 石の民族資料館(牟礼町)
内 容 市民の皆様から寄贈された戦争遺品を中心に展示

● 平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭

期 日 開催時期未定
場 所 未定
内 容 絵本朗読「^{くにた}柞田飛行場」
映画「あの日のオルガン」

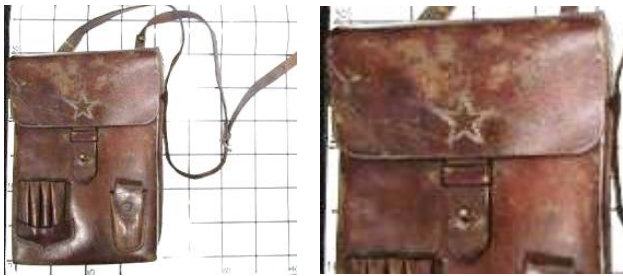
※ 新型コロナウイルス感染症の拡大などの状況により、開催を中止・延期する場合があります。

すのう
凶囊(革製肩掛け鞆)

寄贈者 金倉 修 様

地図などを入れる革製の小型の鞆。大きさ（縦 26.5cm×横 19.5cm×厚さ 6.5cm）、色はこげ茶色、堅牢なつくりである。肩から掛けるための革紐が付いており、蓋の部分には星章が刺繍されている。長期間にわたって使用していたのであろうか、内側可動部分には繕った跡がある。

寄贈者の父親は、1941(昭和16)年に丸亀連隊に衛生兵として所属していた。この凶囊は、そのときから使用していたものである。後に、父親は中国大陸に出征、桂林から上海に向かう途中、南昌で終戦を迎え、そこで数か月間滞在して1946(昭和21)年、上海から帰国した。



平和記念館「最近の寄贈品」コーナーに展示中

編集メモ

「教職員のための平和教育講演会」での長尾昭雄さんのご講演は、非常に大きな反響がありました。原爆投下直後の様子を直接聞けるとは思わなかったという驚きの声や、この事実を子どもたちに伝えなければいけないという使命感にあふれた意見をいただきました。「戦争遺品等収蔵品巡回展」では、ご来場の方から、当時の様子を描いた絵画や生活用品を見ると、厳しい時代を懸命に生きた人々の人生がしのばれるという感想をいただきました。平和記念館では、令和3年度、予定表のとおり行事を計画しております。皆様のご来場とご意見ご感想をお待ちしています。(新型コロナウイルス感染症の拡大などの状況により、開催を中止・延期する場合があります。)



戦時用語解説 61

配給制

【読み】はいきゅうせい

【分類】戦時中の暮らし



戦時中は、様々な物資が軍用に優先して回されるため、食料やその他の生活に必要な品物が不足するようになった。少ない物資を、人々になるべく公平に行き渡るように、配給制が導入された。米や麦、みそ、しょうゆ、食用油、木炭などは通帳制で、通帳に記載された明細表をもとに、家族の人数等に応じて割り当てられた配給量の品物を購入した。衣料品、砂糖、マッチ、石けんなどは切符制で、各家庭に配られた切符や購入券を代金とともに渡して購入した。衣料切符は、靴下が2点、ブラウスが8点、学生服が32点などのように、品目別に細かく点数が決められていた。

しかし、戦況が悪化し、物資の不足がその度を増すとともに、切符や購入券があっても店には品物が無い状態になった。



たかまつミライエ

高松市平和記念館（たかまつミライエ5階）

開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日：火曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始

入館料：無料

▼ホームページアドレス（平和啓発の推進事業がご覧いただけます） ▲QRコード

<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kurashi/shinotorikumi/jinken/keihatsu/heiwa/index.html>

